

第24期 事業報告書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで



ロゴマークは、ローマ字・キータッチ・カタカナの三位体で構成されています。またエイジスのコーポレートカラーである白・青・赤は、白＝お客様に対して誠実に仕事をする姿勢、青＝冷静・沈着な作業態度、そして赤＝エイジスマンの胸に秘めた情熱を表しています。

株主メモ

決 算 期	3月31日
定時株主総会	6月
基 準 日	3月31日
	なお、その他必要あるときは、あらかじめ公告した日。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号（〒100-0005） 東洋信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	東京都江東区東砂七丁目10番11号（〒137-8081） 東洋信託銀行株式会社 証券代行部 電話（03）5683-5111
同 取 次 所	東洋信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 紙	日本経済新聞

“Low Cost Operation” 時代の棚卸システム



株式会社 **エイジス**

証券コード：4659

エイジスは、最先端の棚卸システムを創造し、
日本の流通業界の発展に貢献しています。



エイジス創業の理念

“お客様にプロフェッショナルとして、最高のレベルの棚卸を提供する”
私達はこのことを瞬時も忘れることなく守り続けていきます。

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第24期（平成13年3月期）における事業の概況をご報告申し上げます。当期におきましては、平成12年6月1日から施行の大店立地法により店舗の無休化及び営業時間の延長が本格化してまいりました。それに伴い、大型店チェーンの棚卸のアウトソーシングが急速に拡大してまいりました。その結果、平成13年2月度においては対前年比150%に近い売上を記録することとなりました。

棚卸をアウトソーシングするという、この傾向はG.M.S.（大型総合スーパー）及びS.M.（スーパーマーケット）を中心とし、今期（第25期）さらに拍車が掛かっていくものと予測されます。まさに米国の棚卸市場並のマーケットが日本に到来しつつある実感を得ているところです。

お陰様で第24期は、売上、利益とも第23期に引き続き過去最高の実績を上げることが出来ました。

平成12年3月に本社を東京都の高田馬場から千葉県の大塚に移転したことにより、当初から予定していた従業員の教育研修が十分に出来たこと、なおかつ従来外部の施設を利用していたことにより生じていた経費も削減することが出来ました。当社の財産である人材の育成と研修コストの削減が出来たことをここに報告申し上げます。これもひとえに株主の皆様のご協力の賜物と深く感謝する次第です。

なお、利益配当金につきましては、1株につき普通配当12円50銭及び特別配当として5円、合計17円50銭とさせていただきますことをご報告申し上げます。

日本の流通業界は今、カルフル（仏）、コストコ（米）等の本格的な日本進出及び今後予定されるウォルマート（米）、メトロ（独）等の外資の参入により大きく変わろうとしております。即ち、外資に対抗できるための店舗におけるローコストオペレーションへの取組みが本格化しつつあります。それに伴い、売上の確保のために、販売以外の部分を積極的にアウトソーシングする傾向が顕著となってまいりました。当社への流通業界各位からの期待をひしひしと感じている昨今でございます。当社ではコアとしての棚卸以外にもお客様のこうした要望に応えるべく新設のCSC事業部並びに陳列代行の関連会社株式エス・エム・エスを中心としてより一層積極的に取り組んでいく所存です。大いにご期待下さい。

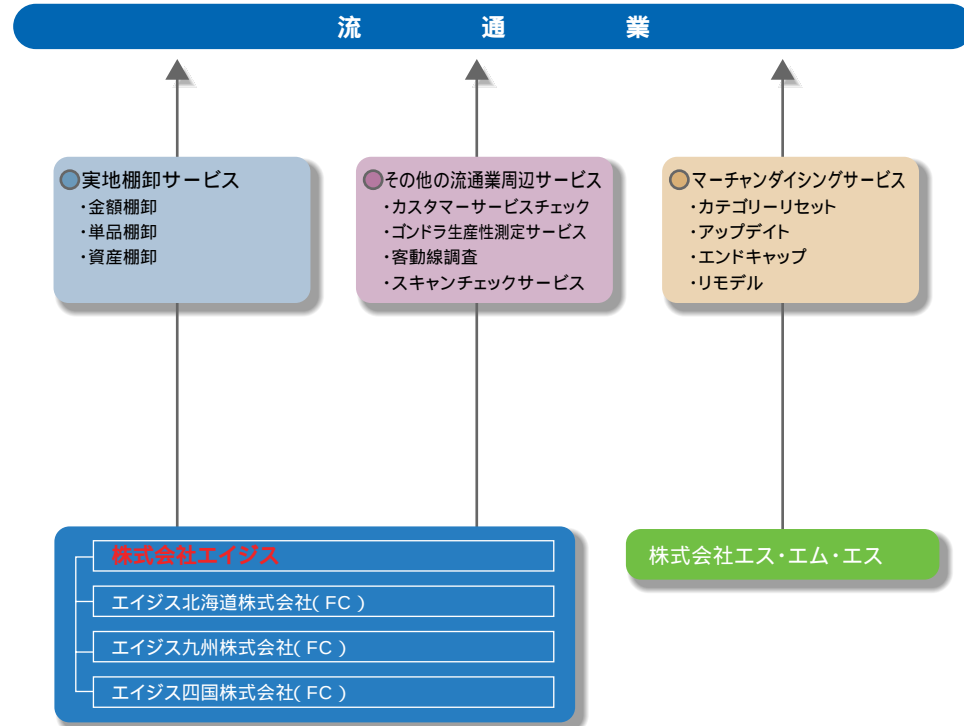
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

代表取締役社長

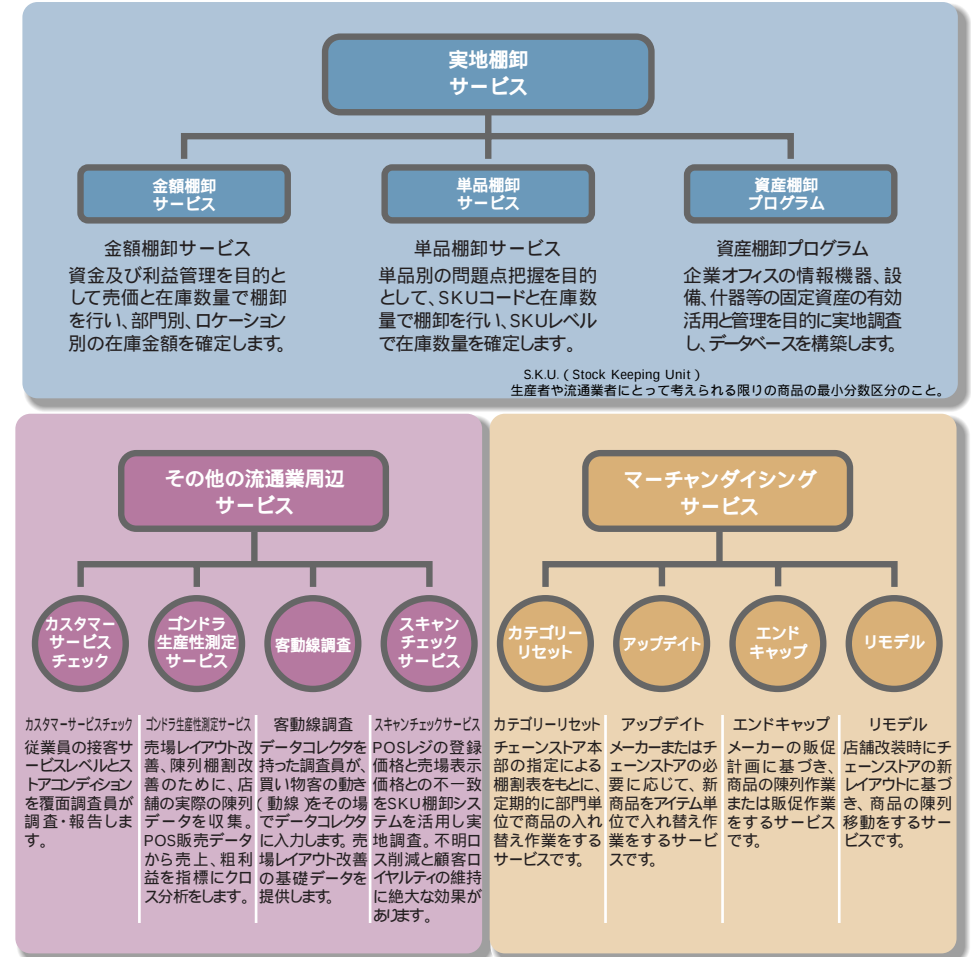
芦部克生

平成13年6月

エイジスグループは、棚卸サービスをコアビジネスとして、流通業界の周辺サービスを総合的に提供する企業を目指しております。



エイジスグループのサービスメニュー



エイジスでは、職位別の社内研修をはじめ、アメリカへの実地研修等、多様な“人材育成”プログラムを持っています。グローバル競争の時代を迎え、顧客満足とローコストオペレーションをめざすチェーンストアの戦略システムに、私たちエイジスはレベルの高い技術とノウハウをベースとした“人の力”でソリューション・サービスを提供しています。

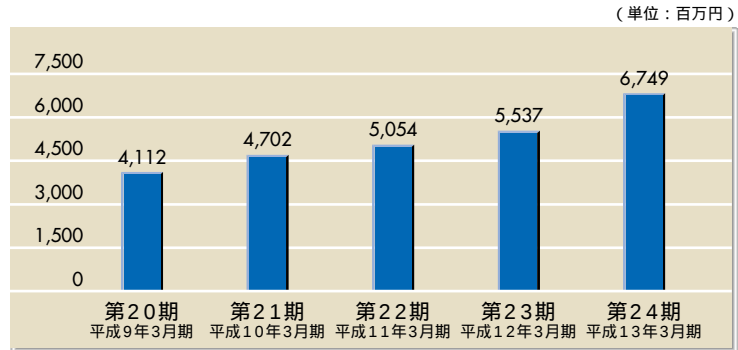
「海外研修風景」

平成13年 4月20日～平成13年 4月28日
アメリカ合衆国カリフォルニア州

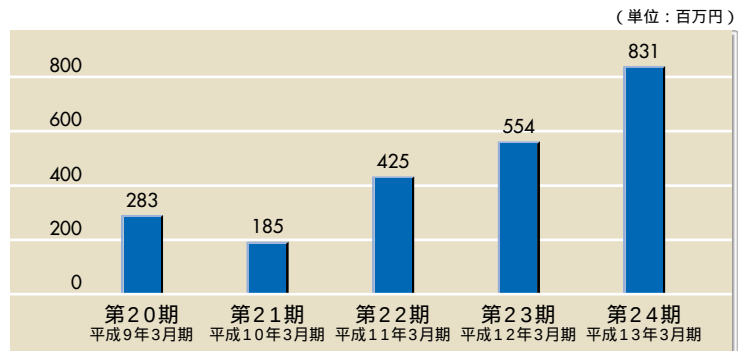


財務ハイライト

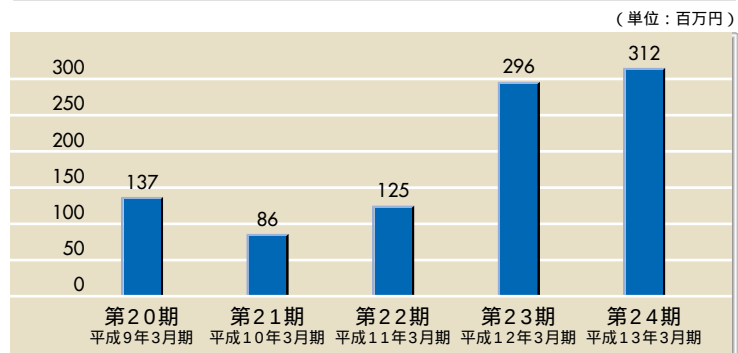
● 売上高



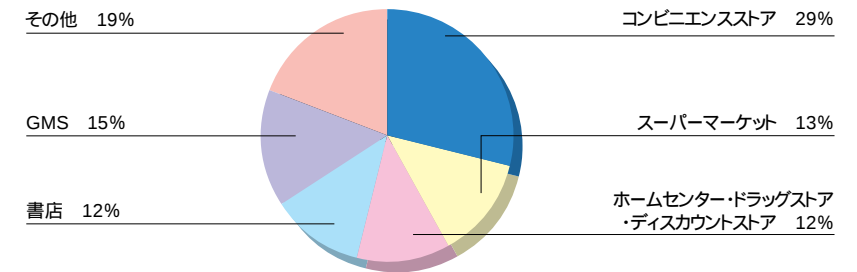
● 経常利益



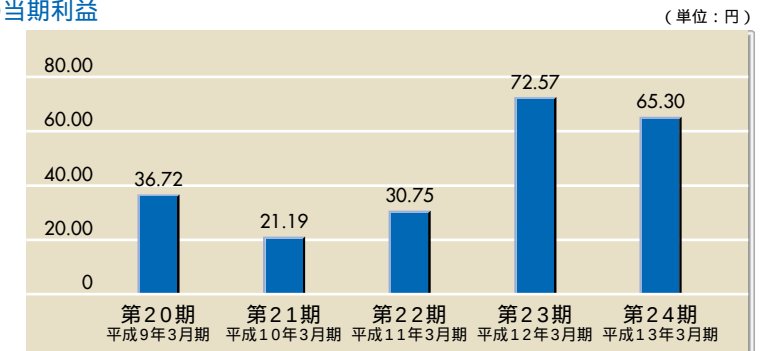
● 当期利益



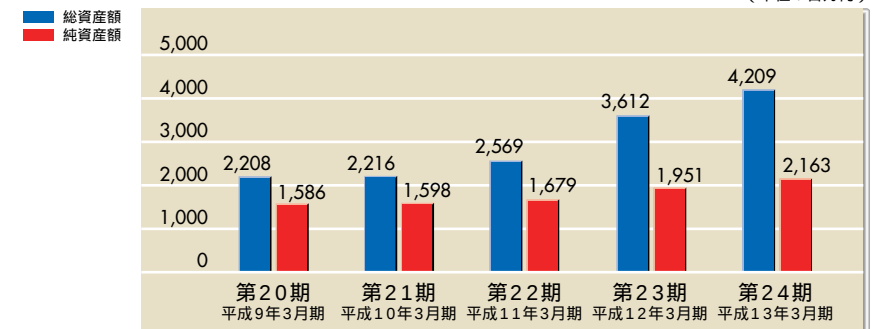
● 業態別売上高構成比



● 1株当たりの当期利益



● 総資産額 / 純資産額



貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当 期 末 (平成13年3月31日現在)	前 期 末 (平成12年3月31日現在)	科目	期別	当 期 末 (平成13年3月31日現在)	前 期 末 (平成12年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		2,384,626	1,841,065	流動負債		1,248,286	979,270
現金及び預金		1,023,167	838,352	短期借入金		—	90,000
売掛金		1,113,717	767,662	一年以内返済予定の長期借入金		33,996	33,996
有価証券		—	123,395	未払金		634,067	474,277
自己株式		560	—	未払法人税等		261,568	128,543
貯蔵品		20,877	9,552	未払消費税等		107,727	56,071
前払費用		32,920	35,453	賞与引当金		186,587	163,674
繰延税金資産		68,918	39,215	その他		24,340	32,707
その他		127,764	30,619				
貸倒引当金		3,300	3,186	固定負債		797,549	681,844
				社債		300,000	300,000
固定資産		1,824,499	1,771,290	長期借入金		267,342	300,338
(有形固定資産)		1,264,307	1,207,305	退職給与引当金		—	6,065
建物		248,075	259,369	退職給付引当金		23,967	—
構築物		3,187	3,724	役員退職慰労金引当金		116,910	75,030
器具及び備品		179,151	110,319	債務保証損失引当金		89,000	—
土地		833,892	833,892	その他		330	411
				負債合計		2,045,835	1,661,115
(無形固定資産)		21,035	20,847	(資本の部)			
ソフトウェア		10,302	10,187	資本金		475,000	475,000
電話加入権		10,733	10,660	法定準備金		537,980	527,980
(投資等)		539,156	543,136	資本準備金		489,480	489,480
投資有価証券		72,242	90,883	利益準備金		48,500	38,500
自己株式		165,414	165,414				
敷金保証金		155,280	162,652	剰余金		1,156,164	948,357
会員権		30,000	68,631	特別償却準備金		8,042	—
保険積立金		20,251	19,050	別途積立金		740,000	550,000
長期未収入金		33,000	—	当期末処分利益		408,121	398,357
繰延税金資産		56,467	27,061	(うち当期利益)		(312,552)	(296,099)
その他		12,205	9,660	その他有価証券評価差額金		5,776	—
貸倒引当金		5,706	217	資本合計		2,163,367	1,951,337
繰延資産		78	96				
社債発行差金		78	96	負債・資本合計		4,209,203	3,612,452
資産合計		4,209,203	3,612,452				

損益計算書

(単位：千円)

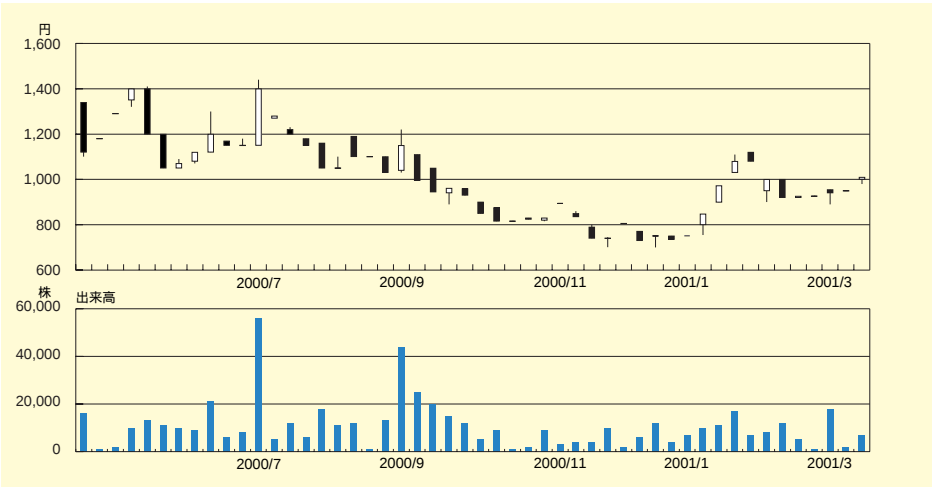
科目	期別	当 期 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)	前 期 (平成11年4月1日から平成12年3月31日まで)
経常損益の部	営業収益	6,749,135	5,537,318
	営業費用	4,807,226	3,906,776
	販売費及び一般管理費	1,122,697	1,065,061
	営業利益	819,211	565,480
	営業外収益		
	受取利息	1,082	1,115
	受取配当金	838	658
	貸倒引当金戻入	20,042	3,397
	貯蔵品売却収入	5,609	4,718
	その他	3,118	4,617
営業外損益の部	営業外費用		
	支払利息	6,780	3,254
	割引料	6,727	854
	社債利息	—	3,385
	社債発行費	—	313
	有価証券売却損	—	—
	投資有価証券売却損	2,204	—
	有価証券評価損	—	16,476
	賃貸手数料等	2,684	1,200
	その他	156	—
特別損益の部	経常利益	831,348	554,502
	特別利益		
	貸倒引当金戻入	—	107
	特別損失		107
	役員退職金	—	3,000
	過年度役員退職慰労金引当金繰入額	20,219	20,219
	退職給付会計基準変更時差異償却	44,029	—
	投資有価証券評価損	25,874	—
	債務保証損失引当金繰入額	89,000	—
	ゴルフ会員権評価損	5,631	—
税引前当期利益	貸倒引当金繰入額	2,000	—
	法人税、住民税及び事業税	644,593	531,389
	法人税等調整額	386,966	249,871
	当期利益	54,925	14,581
	前期繰越利益	312,552	296,099
	過年度税効果調整額	95,569	50,561
	当期末処分利益	—	51,696
当期未処分利益		408,121	398,357

利益処分

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	408,121,677
特 別 償 却 準 備 金 取 崩 額	1,148,956
計	409,270,633
これを次のとおり処分いたします。	
利 益 準 備 金	15,000,000
利 益 配 当	83,632,500
1株につき17円50銭	
〔普通配当12円50銭〕	
〔特別配当5円〕	
役 員 賞 与	35,000,000
(内 監査役賞与)	(2,500,000)
特 別 償 却 準 備 金	10,160,452
特 別 途 積 立 金	190,000,000
次 期 繰 越 利 益	75,477,681

株価チャート



株式の状況 (平成13年3月31日現在)

- 1. 会社が発行する株式の総数 14,000,000株
- 2. 発行済株式の総数 4,896,000株
- 3. 株 主 数 765名
- 4. 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	持株比率
斎 藤 陽 子	708,000株	14.46%
斎 藤 茂 昭	660,000	13.48
エムエルビー エフエス カストディー	313,000	6.39
斎 藤 泰 範	296,400	6.05
斎 藤 昭 生	295,200	6.03
斎 藤 茂 男	144,000	2.94
斎 藤 美 保 子	144,000	2.94
エ イ ジ ス 従 業 員 持 株 会	138,960	2.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	120,000	2.45
株 式 会 社 エ イ ジ ス	117,000	2.39

(注) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有する株式数には、信託業務に係わる株式数が含まれております。

役 員 (取締役および監査役)

代 表 取 締 役 社 長	芦 我 鎌 渡 芳 斎 近 山 鈴 安	部 妻 田 辺 賀 藤 江 地 木 田	克 陽 克 孝 昭 琢 行	生 誠 一 己 郎 生 元 巳 雄 登
専 務 取 締 役				
常 務 取 締 役				
取 締 役				
取 締 役				
取 締 役				
取 締 役				
常 勤 監 査 役				

ネットワーク

フランチャイズ3社を含めたエイジスグループ全体の営業ネットワークは61営業拠点です。

(注) D.O. (ディストリクト オフィス) とは営業所のことであります。サテライトとは出張所のことであります。

エイジスグループ

株式会社エイジス

青森D.O.
盛岡D.O.
秋田サテライト
仙台D.O.
山形サテライト
郡山D.O.
小山D.O.
宇都宮サテライト
水戸D.O.
土浦サテライト
新潟D.O.
高崎D.O.
長野サテライト
大宮D.O.
千葉D.O.
市原サテライト
柏D.O.
東京D.O.
西東京サテライト

八王子D.O.
横浜D.O.
厚木D.O.
静岡D.O.
沼津サテライト
浜松D.O.
名古屋D.O.
四日市サテライト
岐阜D.O.
金沢D.O.
大阪D.O.
堺D.O.
奈良サテライト
京都D.O.
滋賀サテライト
神戸D.O.
岡山D.O.
松江サテライト

エイジス九州株式会社

広島D.O.
福山サテライト
山口D.O.
小倉D.O.
大分D.O.
福岡D.O.
久留米D.O.
長崎D.O.
佐賀D.O.
熊本D.O.
宮崎D.O.
鹿児島D.O.
沖縄D.O.

エイジス北海道株式会社

札幌D.O.
苫小牧D.O.
旭川D.O.
北見サテライト
帯広D.O.
釧路サテライト

エイジス四国株式会社

高松営業所
徳島営業所
松山営業所
高知営業所

会社概要 (平成13年3月31日現在)

商号	株式会社エイジス (英文名 AJIS CO.,LTD.)
資本金	475,000,000円
業務内容	実地棚卸サービスの提供 / コンピュータによる資産棚卸システムのハードおよびソフトの開発と実施 / マーケティングデータの提供と分析 / 商品販売時点情報管理システムのハードおよびソフトの販売および運用の支援
従業員数	189人
棚卸実績	直営65,718店舗、FC31,961店舗 計97,679店舗(平成13年3月期)
主要取引銀行	三和銀行 千葉支店 富士銀行 高田馬場支店 東海銀行 高田馬場支店
ホームページ	http://www.ajis-group.co.jp

主要取引先

敬称・株式会社は省略させていただいております。

■Cv.S	■H.C./Dg.S./D.S.	■Others
am/pm ジャパン	飯島イナ	H.M.V. ジヤパ
ササノ	カササキ	エディン
セー	イナ	エディン
スー	イナ	エディン
セー	イナ	エディン
フミ	イナ	エディン
ニ	イナ	エディン
ロ	イナ	エディン
■S.M.	■Books	
イト	紀三	
ウ	紀三	
関	紀三	
京	紀三	
サ	紀三	
ジ	紀三	
セ	紀三	
西	紀三	
阪	紀三	
富	紀三	